



Sudy & Co., Ltd.

1119 Budapest, Mernok u. 39. Tel: +36-1-883-3687

## ハンガリー経済情報

2018年08月号

### 経済指標と財政状況

■ 経済研究所 GKI の発表によると、ハンガリーの国内経済は2017年第4四半期と2018年第1四半期に4.4%上昇しており、過去10年間の中で比較的速いペースでの成長になった。2018年は4%上昇し、2019年には3.2%上昇すると予想されている。

一方、2013年にプラス成長が始まったEUでは、成長率のペースは次第に落ちており、2017年には2.4%、2018年には2.3%、2019年には1.9%増加すると予想されている。その理由としては雇用創出率と家計の購買力の低下が挙げられる。業界は徐々に拡大して、5月に3.8%増加しており、今年1-5月の5か月間で3.1%の増加だった。建築業は4月にも大幅上昇し(14.2%)、今年1-4月の4か月間で17.5%上昇した。

- 小売業は増加し続けていて、5月には7.2%上昇しており、最初の5ヶ月の平均は7%の増加だった。
- 貿易収支も4月は好調で、輸入(16.7%)と輸出(11.7%)のともに増加している。
- 輸出より輸入が早く増加するトレンドは2019年末までおそらく続くと予想される。
- 失業率は2018年5月に3.7%まで下がり、年間ベースで0.7%の減少見込み。
- 就業者数は2018年に1%増加、2019年には0.5%増加を見込んでいる。

2018年1-4月の4か月間、給与額は平均で12.4%増加した。今年は2桁の増加が続くと予想されている。増加しているインフレーションのため、実質賃金は2018年に7%増加し、2019年には3.5%増加。消費は2018年4.5%増加し、2019年には3.5%増加すると予想されている。

### 外国直接投資

■ 5月のセミナーで Szijjártó 外務大臣はハンガリー向けの外国直接投資が過去最高値を更新したと発表した。Szijjártó 外務大臣によると、2016年には71あった大規模な投資プロジェクトが、翌年2017年には96に増加したという。ハンガリー経済の主要な産業は自動車産業であり、2017年の生産価値は250億ユーロだった。国内加工産業の28.5%を占める値となった。自動車産業には17.5万人が従事している。本産業の製品の95%は輸出されていて、この業界における革新は重大である。また、いくつかの会社では電気自動車のためのバッテリーも生産している。

■ 独BMWは7月31日、ハンガリーに新工場を建設すると発表した。投資額は約10億ユーロ（約1300億円）。生産開始時期は未定だが2019年後半から20年とみられる。車種も未定だが、電気自動車（EV）とガソリン車などを1つのラインで生産できる設備を導入する。近年は中国や北米での生産能力を拡大しているが、地元欧州でも堅調な需要に応える。



出所: Facebook / BMW Group

工場はハンガリー東部のデブレツェンに建設し、生産能力は最大15万台。同社として初めてのハンガリーの工場となる。ハンガリーではスズキのほか、BMWが競合する独ダイムラーや独アウディが進出している。

BMWのハンガリーへの投資が発表され、特に既に企業が欧州（ドイツまたはハンガリー）に拠点を持つ場合、日本企業がBMWのサプライヤーとなる機会が発生する。

弊社では日系企業がこの機会をどのように活用するのかのアドバイスや、ロジスティクスや製造業務の拡大をサポートすることも可能。



## 日本・EU 経済連携協定

### ■ 日本とEUのEPA＝経済連携協定のセミナー

6月14日、ブダペストでSziijártó Péter 外務大臣が日本とEUのEPA＝経済連携協定に関してセミナーを開催し、佐藤地日本大使も参加した。Sziijártó 外務大臣によると、日本は世界第3位の経済大国であり、革新的なパートナーとなり得るため、EPAはハンガリーにとって非常に重要な意味を持つことになるとのこと。本経済連携協定によって生み出されるGDPは世界全体の25%を占めることになるだろう。ハンガリーでは、昨年の対日本貿易総額は2億ユーロであったかが、EPAの導入によりさらなる増加が期待できる。



出所: <http://www.kormany.hu>, Fejér Bernadett

本セミナーで弊社社長シュディが、日本とのビジネスの経験やサクセスストーリー、EPA に対する弊社の期待に関してプレゼンテーション行った:

- 関税率の大幅な引き下げや撤廃の結果、ハンガリー農産物輸出のさらなる成長
- ヨーロッパの規格が日本でより多く受け入れられる。(JAS 規格や JIS 規格との互換性があるのか?) 輸出許可手続きの時間の短縮。(日本の輸入業者にとっても有利に。)
- さらに多くのハンガリー製品の日本への輸出が可能に
- ハンガリーの企業が日本の公共調達入札に参加できるようになる
- 日本に子会社を設立し、ヨーロッパ人が日本で家族と一緒に暮らすための派遣がさらに簡単になる。
- ハンガリーの企業にとって日本からの輸入が容易になり、輸入額が増加する可能性がある(食品や自動車関連製品など)



■ 7月17日、安倍総理大臣とEU=ヨーロッパ連合のトウスク大統領らは、日本とEUのEPA=経済連携協定の署名式に臨み、協定に署名した。世界最大規模の貿易協定となる、今回のEPAは双方の議会承認などを経て発効することになっていて、日本とEUは今後、早期発効に向けて手続きを急ぐことにしている。

アメリカのトランプ政権が保護主義的な政策を打ち出す中、政府としては、EUとのEPAを通じて、経済的なメリットだけでなく自由貿易を進める重要性を世界に示したい考えである。日本とEUのEPAは、域内の人口が6億4000万人、世界のGDP=国内総生産の3割、貿易額では4割を占める世界でも最大規模の経済連携協定である。

## ハンガリーから輸出される製品に関して

### ワイン

関税を即時撤廃する。日本の関税は現在、一般的な750ミリリットル入りのボトルにして最大およそ94円の関税をかけている。シャンパンなどの「スパークリングワイン」も、750ミリリットル入りのボトルに対しての最大およそ137円の関税が即時撤廃される。

### 食品など

EUは「しょうゆ」や「緑茶」のほか「日本酒」や「焼酎」などの酒類についての関税を協定発効後、即時撤廃。EUは現在、「しょうゆ」に7.7%、「緑茶」に最大3.2%、日本酒には、1リットル当たりおよそ10円、それぞれ関税をかけている。また、EUが現在8%としている「冷凍ホタテ」の関税は7年後に撤廃する。

## 1 回目 EU 政策対話

■ 7月6日、林大臣はハンガリー・ブダペストを訪れ、日本とEUの教育・文化・スポーツ政策に関して情報を共有し、さらなる交流を深めるため、ナブラチチ欧州委員（教育・文化・青少年・スポーツ担当）をトップとする欧州教育文化総局との第1回目EU政策対話に臨んだ。

第1部として双方の教育全般、高等教育、文化、スポーツの政策に関して情報交換を行う次官級政策対話を、第2部として林大臣とナブラチチ欧州委員とのバイ会談、そして具体的な政策の枠組みの合意を含む大臣級政策対話が行われた。

今回、

- (1) 日 EU の大学間のダブルディグリー（双方の学位を得られる）などによる学生交流
- (2) 日 EU の行政官同士の短期交流事業

の具体的な2つの交流事業を来年度から実施することで合意した。

EU が現行制度の下で域内以外の国とダブルディグリーの学生交流の枠組みをつくるのは初めてのことである。

## 日本ハンガリー二国間およびハンガリー国内の日系企業関連ニュース

### ■ Bridgestone 社の投資



Bridgestone 社は去年秋に2億6,600万ユーロの投資で生産キャパの上昇に成功した。生産地域は4万7千㎡から14万4千㎡に拡大し、タイヤの年間生産力は180万本から360万本に増加した。2020年までに現在の二倍（720万本）の年間生産力を目指している。新生産ラインで人工知能のデジタルステクノロジーで高品質タイヤが生産されて、システムによって、480箇所をチェックされる。倉庫の一部でタイヤが自動的に動かされている。

4月に937万ユーロの投資として新倉庫を建て始めた。1万㎡の倉庫で18万本保存できて、すべての倉庫能力は60万本に増加した。

世界第一のタイヤとゴムの製造会社であるBridgestone社のTatabanya工法では、1100人の社員が従事している。今年の新入社員は400人だった。

### 参考および出所：

<https://www.gki.hu>

<https://www.bbc.com>

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/activity/detail/2018/20180706.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/activity/detail/2018/20180706.htm)

<https://www.vg.hu>

<http://www.kormany.hu>

<https://www.nikkei.com>